

平成28年度 第2回朝日町地域公共交通活性化協議会（議事録）

日時：平成28年8月30日（火）

場所：朝日町開発センター2階会議室

発言者	内 容
事務局長 （課長）	<p>皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日、司会進行を務めさせていただきます朝日町政策推進課長の渡辺と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は第2回目の朝日町地域公共交通活性化協議会ということで、第1回目は6月21日に書面協議で開催させていただいたことになっております。</p> <p>それでは、ただいまより第2回朝日町地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>はじめに、会長であります朝日町長よりあいさつをお願いします。</p>
会長（町長）	<p>皆様大変ご苦勞様でございます。本日は、平成28年度第2回朝日町地域公共交通活性化協議会ということで、台風が接近している天候不順な中、各委員の方に出席していただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいま渡辺課長からもありましたように第1回目は書面協議ということで開催させていただいております。</p> <p>また今年度は7名の方に新たに委員を委嘱させていただいておりますが、委嘱状につきましては、6月の書面協議の際に併せて送付させていただいております。</p> <p>本日の協議の内容につきましては、（１）の総合交通の一部見直しについてということで山形直行バスの件と（２）のその他となっています。皆さんから活発な意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。</p>
事務局長 （課長）	<p>本日の会議につきましては、朝日町地域公共交通活性化協議会規約第9条第2項の規定によりまして、委員の15名のうち過半数が出席していることから、会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>議長につきましては、規約第9条によりまして会長になることになっています。朝日町長に議長をお願いします。</p>
議長（町長）	<p>それでは、協議に入らせていただきます。議事（１）総合交通対策の一部見直しについて、事務局に説明を求めます。</p>
事務局 （主査）	<p>それでは私の方から説明させていただきます。私今年度から政策推進課地域振興係長になりました佐藤と申します。交通体系も担当させていただきますので、宜しくお願い致します。</p> <p>説明に入る前に本日の資料につきましては、事前に郵送させていただいております。郵送させていただいております資料は、次第が1枚、右上に「資料1」と書いてある資料が1枚、本協議会規約の資料が2枚、それから参考として、今年の春に作成いたしました朝日町公共交通時刻表も併せて郵送させていただいております。</p> <p>それでは資料に基づきまして（１）の総合交通の一部見直しについて説明をさ</p>

させていただきます。今回見直しを検討していただきますのは、山形直行バスとデマンドタクシーのうち、山形直行バスの方になります。お手元の「資料1」をご覧ください。今回は、山形直行バスの復路3便化に向けて時間帯を検討したいということで、時間を変更して運行体制のあり方を検証する為に3便化の実証運行について協議させていただきたいと思っております。

こちらを検討するにあたりまして最初に「資料1」の裏面に利用者の声ということで、アンケート結果を載せさせていただいております。最初にこちらを説明させていただいてから今回の取り組みの考え方を説明させていただきます。

Q1は山形に通っている生徒の下校時間をまとめたものになります。現在の直行バスの復路便運行は、山交バス本社前を17:00発と18:45発となっていますが、円グラフを見ていただきますと約半数の方が利用することが出来ている結果になっています。しかし反対に約半数は利用することが出来ないという結果になっています。

Q2は山形直行バスの利用状況についてアンケートを実施した内容になります。往路・復路とも利用しているという方は40%、朝は乗れるけれども帰りは乗れないというような理由から往路のみ利用している方は53%となっています。後は復路のみ利用しているという方が7%という結果になっています。

その隣の『Q2で往路のみ利用している人』が帰りに主として利用している交通手段については、75%という大半がJR左沢線+駅まで保護者が迎え、残りの25%は保護者が学校まで迎えに行くという結果になっています。

『Q2で往路のみ利用している人』が希望する出発時刻として、1便目は学校が終わった後すぐの16:30、または少々余裕を持った18:00が多くなっています。2便目については、19:00以降を希望している割合が多くなっており、半数以上の人は遅い時間を希望していることが分かります。

このアンケートに基づいて今回の実証運行の案を作成致しました。「資料1」の表面をご覧ください。

現状については、

- ・部活をしている生徒が遅い時間になって復路便に間に合わない。
- ・帰りはJR線を利用している人が多い。
- ・JR線を利用している人は、左沢駅もしくは寒河江駅まで親の迎えが必要になっている。
- ・JR線は片道の定期券がなく往復の定期券しかない為、山形直行バスの定期券との二重購入が発生し、定期券の購入費用が負担になっている。

といったことが挙げられると思います。

こうしたことを解決するために今回20時台の出発便を運行して、山形直行バスを利用しやすくしていきたいと思っています。そうすることで山形直行バスとJR線の定期券の二重購入、親の送迎の負担を減らすことが出来ると思います。

実際の運行方法としては、町所有のバスが2台ありますので、この2台のバスで運行していく予定になっています。

実証運行の実施期間としては、平成28年10月1日～平成28年12月30日までの平日で、実運行は61日を予定しています。JRの定期券を利用してい

	<p>る人は、4月から6ヶ月などの単位で購入している場合も多いと思いますので、JRを利用している人たちの定期券更新時期に合わせて今回設定させていただきました。</p> <p>運行時刻につきましては、1便目・2便目の出発時刻は変更せず、3便目を20:15で設定させていただきました。先ほど説明致しましたアンケートでは、20:30を希望する人が多くいましたが、その理由として「20:00ではギリギリすぎる」「部活の終わりが19:30なので少し余裕が欲しい」と回答がありました。その20:30を希望している人でも20:15であれば少し余裕を持ってバスに乗ることが出来る時間だと思い、20:15に出発時間を設定させていただきました。</p> <p>また朝日町に到着する時間について、山交バス本社前を出発してから朝日町役場前までだと1時間11分、最後の太郎公民館前まで1時間20分かかりますが、だいたい21:30には朝日町に帰ってくることが出来きて、家にも22:00前に帰宅することができるぎりぎりの時間ということで20:15に設定させていただきました。</p> <p>経費につきましては、今回の実証運行にかかる分として、給与、燃料費を黒字で記載させていただきました。合計としては、約418,000円程の経費増加を予想しております。なお、赤字で記載されてあるのは、これらを年間にして計算したものになります。</p> <p>利用見込みにつきましては、片道定期券から往復定期券になる人を2人と予想しております。また復路便を利用出来ないことからJRを利用していた人が、3便目を設定することで復路便に乗れるようになれば、新規の利用も見込まれると予想されることから新規の利用を2人と予想しております。この2つの予想から新たな収入として114,000円程度の収入を予想しております。</p> <p>経費と収入を差し引きいたしますと、300,000程度のマイナスとなりますが、この分については町の会計で別途計上させていただきたいと思っております。</p> <p>今回の実証運行から検討する事項として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月から12月の間に往復の新規利用が増えるか。 ・2・3便目の利用人数の把握。 ・3便目を運行することで山形直行バス全体の利用人数が増えるか。 <p>といったことを検討して、次年度以降の施策につなげて行きたいと考えております。</p> <p>最後に今回の実証運行の周知は、全戸配布のお知らせ板、バス車内掲示、高校生へ別途お知らせを送付するなどしていく予定です。</p> <p>説明は以上となります。ご協議よろしくお願いいたします。</p>
議長（町長）	<p>それでは議事（1）総合交通の一部見直しについて、委員の皆様からご意見・ご質問はございませんか。</p>
県ハイヤー協会	<p>今現在の通学利用と一般利用はどのような状況でしょうか。</p>

事務局 (主査)	<p>山形市に通学している高校生の数ですが、各学年約20名程度で、全体では60名程度になっております。そのうち今回実施したアンケートは山形直行バスで通学している人を対象に行いましたので、表のと通りの結果となっております。</p> <p>社会人で利用している方もいまして、定期券を利用しているのは今のところ1名になっております。あとは、定期券を利用せず山形の病院などに行かれる方もいらっしゃると思いますが、一週間のうち2名程の利用となっております。</p>
県ハイヤー協会	<p>社会人の通勤などでの利用が少ないようですが、復路3便の増便によって冬期間はマイカーではなく直行バスを利用したいという人もいますので、安全な運行をしていただければ、利用の増加も見込めるのではないかと思います。</p>
議長(町長)	<p>他に何かございませんか。</p> <p>なければ決をとりたいと思います。議案のとおり山形直行バス復路3便化に向けた実証運行について、ご異議ありませんか。(承認)</p> <p>ご異議ないものと認めます。</p>
議長(町長)	次に、議事(2)その他の事項につきまして、事務局から何かございますか。
事務局	特にありません。
議長(町長)	それでは、委員の方から何かございませんか。
山形運輸支局	<p>復路便を運行するにあたって、朝日町から山形市まで向かうわけですが、その向かう際には乗客を乗せないのには何か理由があるのでしょうか。</p>
事務局(課長)	<p>今山形直行バスは復路は2便で運行しています。朝の便に関しまして、朝日町から乗客を乗せて山形市まで行って帰りは空車で朝日町に戻ってきます。復路の2便についても同様に朝日町から山形市まで行くのに空車で向かいまして、山形市から乗客を乗せて朝日町にまた戻ってくるような状況になります。この背景としましては、一つは民間事業者に対する民業圧迫があります。あくまでも山形まで通う高校生を中心にした足確保という捉え方をしているところです。</p> <p>その他に運行するとなった場合に運転手のストレスもあります。乗客をずっと乗せ続けているとそれだけ運転手の負担増につながりますので、運転手の負担を減らすという意味でも空車にしているところです。</p> <p>それから運行するにあたっての全体の利用人数が減ってしまうことがあります。市町村の有償運送は赤字になっているのが現状でありまして、国や県から財政的な支援をしていただいております。その関係から平均乗車密度が低いと支援の対象にならないこともあります。そうしたもありまして、あえて空車としているところです。</p> <p>あとは、利用者の利用も見込めないということもありますが、今後町民の意見も含めながら検討を進めていきたいと思っております。</p>
議長(町長)	<p>他に何かございませんか。</p> <p>ないようですので、予定されていた議事は終了いたしました。慎重審議ありがとうございました。</p>
事務局長 (課長)	<p>慎重なご審議をいただきありがとうございました。以上を持ちまして、平成28年度第2回朝日町地域公共交通活性化協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>